

平成25年度第1回市民ボランティア講座

可能性を信じて～変化する素晴らしさ ーパラリンピックを通してー

今年度第1回目となる市民ボランティア講座(年4回開催)を5月24日(金)に名寄市総合福祉センターにて開催し73名の方に参加いただきました。

「可能性を信じて～変化する素晴らしさーパラリンピックを通してー」と題して開催した今回の講座には、講師として大阪市よりNPO法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター理事長である高橋 明さんにお越しいただきました。



講師の高橋明さん

長年、日本の障がい者スポーツの普及振興を先頭になって進めてこられた高橋さんの経験や思いから、パラリンピックの創始者であるグッドマン博士の言葉である「失ったものを数えるな。残されたものを最大限活かせ」という言葉を用いて、障がい等に関わらず「私たちの可能性は未知であり『できない』ではなく『どうすればできるか』をまず考えること」や「ちょっとした工夫でみんなが一緒にできることはたくさんある」ということや、「ボランティアは何かをしてあげるという姿勢ではなく、共に汗を流す姿勢が大切」など、たくさんのことを伝えていただきました。

高橋さんの思いが込められた講演に、会場も温かい雰囲気になりました。

なお、高橋さんには同じ日に名寄南小学校、風連中学校でもご講演いただき、名寄市の子どもから大人まで幅広い層の方々に多くのことを伝えいただきました。